

福島原発おかやま訴訟判決に向けて

本日のおかやま地裁の判決を、京都から見守らせていただいております。

2014年3月に提訴してから9年という長い年月、多くの困難を乗り越えて判決を迎えられたことと思います。

京都訴訟でも、原発事故当時子供だった若い避難者たちが声を上げてくれるようになり、震災から12年という長く重い年月を感じています。原発事故によって奪われたものの大きさは計り知れません。国と東京電力には、潔ぎよく原発事故の責任を取っていただきましょう。

今日まで原告の皆さまは根気よく法廷で闘ってこられました。そして、弁護団、支援者の皆さまは原告を支えてきてくださいました。心より感謝いたします。

京都から全面勝訴を信じています。いかなる判決が出ようとも、判決日は第二ステージへの一歩でもあります。これからも、おかやま訴訟、京都訴訟、ともに繋がって頑張りましょう！本日は、本当にお疲れ様でした。

以上

2023年3月14日

原発賠償京都訴訟原告団